

# まちの話題



## 検針業務で 地域をパトロール 第環境(株)との包括連携協定

10月7日、直方市と水道検針業務を営む第環境株式会社は、包括連携に関する協定を締結しました。

この協定は、地域福祉の向上や安心して暮らせるまちづくり、災害・事故等による緊急事態発生時における相互協力を目的としています。

水道関連サービスを提供する同社は、平成30年から市の上下水道料金の賦課徴収業務を受託しています。今後、災害発生時の給水活動の支援をはじめ、その市内一円を検針で訪問する利点を生かした、道路等の破損・劣化等の情報提供や、子どもや高齢者の見守りなどの地域のパトロールに取り組みます。

同社の玉木孝一社長は「私たちにできることには限りがあるが、市民の皆さんのために当社の技術や人的ネットワークを活かして貢献したい」と話しました。



## (株)もち吉より力水寄贈 災害時の備蓄協力に感謝

株式会社もち吉から備蓄用保存水を寄贈いただいたことに対し、10月11日、大塚市長から同社の森田恵子社長へ感謝状が贈られました。

大規模な水害・地震発生時には、必要な物資の調達や輸送が平常時のように行えないため、初期対応に十分な量の物資を備蓄する必要があります。本市では、直方市地域防災計画に基づき災害時の物資の備蓄を行っています。今回、同社から力水500mlが1000本寄贈されました。

森田社長は、今回の寄贈について「我々は直方の人々に支えられており、地元役に立ちたいと理念を掲げている。地元への恵みをいただけて事業をしているお礼」と言い、市長は「ライフラインで水は大事。いざという時がないことを願うが、有効に活用させていただきたい」と感謝を述べました。



## 園児たちの芋ほり大会

10月25日、北九州市八幡西区の畑で、直方市内の保育園等の子どもたちが、芋ほり体験をしました。

これは、市内で生花店を営む金田満さんが芋ほり実行委員会として行っているもので、今年で18回目です。子どもたちはスコップを手に大きな芋を一生懸命掘り起こし、畑のあちこちで収穫を喜ぶ声があがりました。



## 今年も武蔵川部屋が 多賀神社で稽古

10月28日、大相撲九州場所の宿舎を市内に構えた武蔵川親方が市庁舎を訪れ、市長を表敬訪問しました。

訪問前日には武蔵川部屋の力士たちによる子ども相撲教室も行われ、参加した子ども達は、四股やり足などの基本の動きを指導され、汗を流しました。稽古後にはちゃんこ鍋もふるまわれ、相撲に興味を持つてもらえたようです。

同部屋は昨年から多賀神社に宿

舎を移しており、親方は「直方の環境は稽古に集中できて最高。怪我無く出し切りたい」と話しました。



## 直方の文化人を知る 小中学生作文俳句コンクール

11月4日、直方文化連盟が主催する、林芙美子顕彰作文コンクールおよび浮風・諸九尼顕彰俳句コンクールの表彰式が行われました。

林芙美子は戦前戦後に活躍した作家で、幼少期の直方での暮らしを自伝的小説「放浪記」に描きました。また、浮風・諸九尼は江戸中期の俳人夫婦であり、浮風が直方出身、諸九尼は晩年直方に移り住んでおり、いずれも直方にゆかりのある人物です。同連盟では、直方にゆかりのある文化人の功績を子どもたちに知ってもらい、地域文化への理解を深めてほしいと同コンクールを開催し、優秀な作品に林芙美子賞などの賞が贈られました。



# お花が好きなあなた必見! ～のおがた花便り～

## ● 直方市の冬の花 —スイセン—



● ティタティタ



● ニホンスイセン



● スノードロップ

### 【スイセン】ヒガンバナ科・スイセン属

#### ● 別名：雪中花

香りが良く、ラッパのような花を咲かせます。  
特にスノードロップは新年を迎える前を見ると、  
新年から幸運に恵まれるといわれています。

紹介したスイセンはすべて、  
福智山ろく花公園で観賞できます★

## ● のおがたチューリップフェア 2025情報

春の一大イベントである「のおがたチューリップフェア2025」に向け、今年も植栽ボランティアの皆さまによる球根植えが11月から始まりました。イベントの詳細は随時観光ポータルサイトやSNSにて発信します。

### ● のおがたチューリップフェア2025開催日

【とき】 来年3月29日(土)～4月6日(日)

### ● ステージ出演者募集中

フェア期間の土日に行うステージイベント出演者を募集しています。ご応募お待ちしております♪

【応募期限】 12月20日(金)

【申込方法】 申込用紙に必要事項を記入の上、市観光協会窓口(市庁舎5階)へ持参かメール、FAXでご提出ください。

申込用紙は観光ポータルサイトでダウンロードできます。

【注意事項】 観光ポータルサイト掲載の応募要項をご一読いただき、ご応募ください。



### 【フェアに関する問い合わせ】

(一社)直方市観光物産振興協会

● 電話：28 - 8135

● メール：info@nogata-kanko.fun



## 身近に感じて! SDGs

### のおがたSDGs推進パートナーをご紹介!!

SDGs(持続可能な開発目標)は、2030年に向けてより良い社会を作っていくために、国連で採択された世界共通の目標です。目標は、17のゴールとして、わかりやすくアイコンで表されています。

このコーナーでは、SDGsに取り組み、新たに市の『チーム』に加わった『パートナー』と『目指すゴール』をご紹介します。

#### Vol.023 セカスマ株式会社

業種:情報通信 代表者 仲村 正俊

私達は整備済み中古スマートフォンの売買マーケットプレイス「セカスマ」を運営しております。日本には家庭に眠っているスマートフォンが世界で1番多いと言われており、本サービスの普及促進を通してSDGs目標の12番に貢献してまいります。スマートフォンは1台あたりの炭素排出量が約60kg、A4用紙約26,000枚にも及びます。新品からリペアやリファービッシュ済みの中古スマートフォンを選択することで、環境負荷である炭素排出量の削減をすることに繋がります。



## プロの整備済み中古スマートフォンの 売買マーケットプレイス運営



### 【SDGsの取り組み】

2021年、『2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略』が経済産業省から発表されました。その中の「経済と環境の好循環」につながる取り組みに、セカスマも賛同しています。脱炭素社会の実現へ向け、セカスマは、リユース品のマーケットプレイスを通じて、電子デバイスの製造プロセスにおけるCO2排出量の低減を積極的に支援します。

セカスマは、既に製造されたリユース品を、できるだけ環境に負荷をかけない形で新たな持ち主に届けることを最重要事項の一つとして掲げ、カーボンニュートラル実現へ向けた取り組みを推進していきます。